

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2013-165959(P2013-165959A)

【公開日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2013-046

【出願番号】特願2013-7741(P2013-7741)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、

前記有利状態となる可能性を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段を備え、

前記予告演出実行手段は、前記予告演出として、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第1予告演出のいずれかを実行可能であるとともに、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第2予告演出のいずれかを実行可能であり、

前記予告演出実行手段は、

前記複数の第1予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第1予告演出を実行する場合に、前記複数の第2予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第2予告演出の実行が制限されるように、前記予告演出を実行し、

前記複数の第1予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第1予告演出が実行される場合に、前記複数の第2予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様以外の前記第2予告演出は実行され、前記複数の第2予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第2予告演出が実行される場合に、前記複数の第1予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様以外の前記第1予告演出は実行されるように、前記予告演出を実行する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、

前記有利状態となる可能性を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段を備え、

前記予告演出実行手段は、前記予告演出として、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第1予告演出のいずれかを実行可能であるとともに、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第2予告演出のいずれかを実行可能であり、

前記予告演出実行手段は、

前記複数の第1予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第1予告演出を実行する場合に、前記複数の第2予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第2予告演出の実行が制限されるよう、前記予告演出を実行し、

前記複数の第1予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第1予告演出が実行される場合に、前記複数の第2予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様以外の前記第2予告演出は実行され、前記複数の第2予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第2予告演出が実行される場合に、前記複数の第1予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様以外の前記第1予告演出は実行されるよう、前記予告演出を実行する。

本発明の他の遊技機は、

(1) 各々を識別可能な複数種類の識別情報(例えば特別図柄や飾り図柄など)の可変表示を行い表示結果を導出する可変表示手段(例えば第1、第2特別図柄表示装置4A、4Bや画像表示装置5など)を備え、識別情報の表示結果として予め定められた特定表示結果(例えば大当たり図柄となる確定特別図柄や大当たり組合せとなる確定飾り図柄など)が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば大当たり遊技状態など)に制御する遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、前記特定遊技状態となる可能性を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段(例えばステップS717、S720、S721の処理を実行する演出制御用CPU120など)と、前記予告演出実行手段により前記予告演出を実行するか否かと実行する場合の前記予告演出の演出態様とを決定する予告演出決定手段(例えばステップS710、S713、S714の処理を実行する演出制御用CPU120など)と、をさらに備え、前記予告演出実行手段は、前記予告演出として、互いに異なる演出態様に対応して前記特定遊技状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第1予告演出(例えば第1先読み予告演出、第1変動中予告演出など)のいずれかを実行可能であるとともに、互いに異なる演出態様に対応して前記特定遊技状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第2予告演出(例えば第2先読み予告演出、第2変動中予告演出など)のいずれかを実行可能であり、前記予告演出実行手段は、前記複数の第1予告演出のうちで前記特定遊技状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様(例えば先読み予告パターンSYP1-1など)の前記第1予告演出を実行する場合に、前記複数の第2予告演出のうちで前記特定遊技状態となる可能性が低い段階に対応した演出態様(例えば先読み予告パターンSYP2-1など)の前記第2予告演出の実行が制限されるよう、前記予告演出を実行する(例えばステップS712における判定結果に基づいて、ステップS713またはS714の処理を実行する演出制御用CPU120など)ことを特徴とする。

このような構成によれば、特定表示結果となる期待度が低い予告演出が重複して実行されることを制限できるので、予告演出によって遊技者の期待感を損なうことを防止でき、遊技の興奮が向上する。